

04月25日発売予定!

栗原 康 著

増補 G8 サミット体制とはなにか

【補遺】 負債経済の台頭 を追加!

本書は「サミットとはなにか」を解説する入門書です。その母体であるIMF(国際通貨基金:第2次世界大戦直後の1944年に設立された国際通貨制度)の体制を引き継いで形成されたいわば世界秩序を具体的に説明して、その体制が世界の貧困、差別、戦争などの多様な社会問題を引き起こしている現状を分かり易く説明します。したがって、本書はサミット体制の入門書であるばかりでなく、サミット体制のもとで蔓延してきたグローバルな社会問題の入門書です。

栗原 康 (くりはら やすし)

1979年埼玉県生まれ。早稲田大学政治学研究科・博士後期課程満期退学。
現在、東北芸術工科大学非常勤講師。専門はアナキズム研究。

【目次】

はじめに
第1章 世界政府 サミット
 コラム「世界の暴動①」チアパスの民衆蜂起
第2章 サミット体制の成立
 コラム「世界の暴動②」中国 反日デモ
第3章 第三世界の新自由主義
 コラム「世界の暴動③」フランス暴動
第4章 G8諸国の新自由主義
 コラム「世界の暴動④」韓国人は怒っている
おわりに
サミット体制をもっとよく知るための文献案内
あとがき
補遺 負債経済の台頭

【著書】

『大杉栄伝—永遠のアナキズム』(夜行社、2013年)
 第5回「いける本大賞」受賞
『学生に賃金を』(新評論、2015年)
『はたらかないで、たらふく食べたい—「生の負債」からの解放宣言』
 (タバックス、2015年)
『現代暴力論—「あばれる力」を取り戻す』(角川新書、2015年)
『村に火をつけ、白痴になれ—伊藤野枝伝』(岩波書店、2016年)

四六判 並製カバー装 184頁 本体価格:2,200円 (定価:2,376円)

希望陳列コーナー:現代思想、国際関係、社会問題、ほか

以文社 ISBN 978-4-7531-0331-7 C0010 本体価格:2,200円 (定価:2,376円)

帳合・番線	ご希望冊数	書名
		<p>増補 G8 サミット体制とはなにか</p> <p>栗原 康 著</p>

※指定配本の都合上04月17日までにFAXまたは電話にてご返信お願い致します。